

## 授業改善等に関する報告書（2021 年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
漢文学基礎演習2	秋谷 幸治	今年度も昨年度と同様にmanabaを用いてメディア授業（オンデマンド型）を進めていきました。今年度は、課題における受講生の解答をそれぞれ紹介しながら、授業内容を深めていくことを心がけました。多くの学生が、様々な意見に触れることで、新たな発見をしてくれたようでした。授業アンケートの結果を見ると、「オンデマンドでも分かりやすく興味深い講義であった」といった肯定的なコメントを複数もらいました。来年度は対面授業が再開される予定ですが、メディア授業において効果的であった取り組みも活かしながら、学生が主体的に学べる授業を進めていきたいと思えます。
特殊演習2	棚田 輝嘉	評価ありがとうございます。 コロナ禍にもめげず、無事卒論提出できてよかった！ 授業としては、より密接に、かつ、個人の状況に応じた指導を今後さらに気をつけていやっていこうと思います。
仮名書法2	伊藤 文生	オンライン授業と対面授業との混合形式となり、なかなか本来の十分な取り組みができなかった。にもかかわらず、受講生は各自それぞれに工夫努力して下さったことにまず感謝したい。要望として、「出席を資料確認のみで済ませないで欲しい」という意見があった。これは少々誤解のようだ。出席を資料確認のみで済ませたのではない。最終的には納得していただいたものと確信する。 受講生の自己評価および感想を見ると、およそ以下のとおりで、一応の学修成果は得られたものと判断する。 ・変体仮名を読めるようになった。 ・少しずつかな文字が読めるようになりました。 ・かなり学びを深められたと思う。 ・かな文字の表現の仕方、作品によってそれぞれに表れる字の特徴について学ぶことができた。また、かな文字の代表的な書家やその書について見て勉強することができた。 ・今まで他の授業で異体仮名を読む際になかなか読めず辞書を引く必要がありました。が、異体仮名に慣れずら読むことが出来るようになりました。また、字をよく見ながら書くことで、集中力が高まりました。 ・筆を使って仮名をしっかりと練習することが出来た。 ・字を丁寧に書く余裕がうまれました。 ・欠席などに対しても柔軟に対応してくださり感謝しています。また、後期の小テストをまとめて公開して下さったことで、自分の好きなタイミングで取り組むことが出来たので良かったです。
Japanese Linguistics	山内 博之	みなさんが毎週書いてくれる英語の量の多さと質の高さに、私はとても驚き、大いに満足していました…。 「わかりやすく書く」「わかりやすく説明する」ということの大切さを少しでも感じてもらえたのなら、とてもうれしいです。
漢文学基礎講読 b	田中 靖彦	授業に対して高評価をいただきましたこと、誠にありがたく思います。授業の進め方などについてもお褒めの言葉をいただきました。いっぽうで、授業の進行速度が速かったというご意見もいただきましたので、今後の改善課題とさせていただきますので、何卒宜しくお願い致します。
漢文学基礎講読 b	田中 靖彦	授業に対して、非常に高い評価をいただきましたこと、誠にありがたく思います。成長を実感したというご感想も多数いただき、また、今後も漢文を学びたいという嬉しいご意見もいただきました。引き続き、皆様にご満足いただける授業を実施できるよう努めてまいりますので、何卒宜しくお願い致します。
国文学概論 b	棚田 輝嘉	好評価ありがとうございます。 さらに分かりやすく面白い授業を考えていくつもりです。 また、2年次の学びに繋がるようにしていますので、2年次の私の授業も受けてみて下さい。  「こちらあみ子」については、オンデマンドの授業となりましたが、質問にお答えできていない事柄などもあります。 『実践国文学』という本学科学会誌に関連する論文を発表する予定ですので、その折りには是非読んでください。
中古文学史 b	舟見 一哉	PDFと音声からなる資料を提示するオンデマンド形式は、今年度も引き続き好評であったと目される。すべてに音声ファイルをつけると、学生への負担が過剰になるかと思ったが、反対に、すべてに音声ファイルをつけてほしいとの声もあることを知った。検討したい。
特殊演習2	ブルナ, ルカーシュ	みなさん、四年間の学生生活おつかれさまです。これからも元気で頑張ってください。
中世文学研究 b	大橋 直義	この授業は国文学科2年生として必要な中世文学史に関する知識・技能を学ぶことを目的としていた。教員の体調不良・不手際のため、授業アップロードの時期に大きな狂いが生じ、受講者には多大な迷惑をかけてしまうことになったものの、答案および成績を関する限りでは、授業の内容の理解は充分であったと考えられる。

[2021（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
近現代文学演習 2	ブルナ, ルカーシュ	少人数の授業で、いろいろ大変だったと思いますが、皆さん、よく頑張りました。授業では、もはやマイナー作家としか言えない網野菊の作品を読みましたが、その文学にも独特の魅力があり、その作品を読むことによって、作家自身や同時代の社会や文化などさまざまな要素が見えてくることを、この授業で再確認できたのではないかと思います。これからも頑張ってください。
国文学概論 b	佐藤 悟	ディスカッションの重要性を理解して貰えたのはよかったですと思います。
日本語教育文法-中級-	山内 博之	オンデマンドの授業だと、必要な情報を過不足なく提供できる、という良さがありますが、やはり直接話ができないという面で寂しさを覚えます。特に今学期は、それほど受講者数が多くなかったのも、もし対面だったら、ある程度、みなさんの顔と名前を覚えることもできただろうと思います。来年度も、また私の授業をとってもらえたらうれしいです！！
中世文学演習 2	大橋 直義	国文学科3年生として、中世文学を学ぶために必要な注釈方法を学ぶ授業であった。オンライン授業という困難な状況におかれながら、全員が研鑽を積み、知識・技能を大幅に躍進させるに至った。
日本語文法論 b	福嶋 健伸	「今まで現状の古典教育はこのままでいいのかという疑問を抱いた事が無かったので、新たな視点を獲得できたと思います。苦手だった文法も、少し分かるようになってきて、自分の成長を実感しました。」のような肯定的なコメントが多く、また、全てオンライン授業であったが、「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値は、平均を超えている。対面授業を希望する声もあったが、これは教員個人の力では、どうにもならないことである。
日本文学史 b	河野 龍也	教科書の暗記だけでは、近代文学史を楽しんでもらうのに限界があるため、資料にもとづいて考えていただく課題を設定してみました。相当悩みながら、色々調べて答えてくださった回答が多く、心強く思いました。考える作業を通じて、現代に直接つながる時代としての近代につき理解を深め、文学とは、その時代ごとの社会と向き合う手段であったということ、実感していただければ嬉しく思います。「まとめ」が遅れることがあって申し訳ありませんでしたが、協力的で学ぶことに積極的な受講生の皆さんに支えられたことに、心から感謝しています。
国語学演習 2	福嶋 健伸	「他者に面白く伝える方法が身についた。」「授業の進め方が面白く、たくさんの文学作品に触れながらも濃い内容でした。それぞれお作品についてどれも興味がわくような内容でした。」等の肯定的なコメントが多く、当初の狙い通りの授業が展開できた。全てオンライン授業であったが、「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値は、平均を超えることができた。
近現代文学史 b	河野 龍也	毎回課題作品を読んで、アンケートの設問に答えるのはかなり大変な作業だったと思います。そのぶんフィードバックに力を入れました。学生の答案紹介を楽しみにして下さった方も多かったようです。オンライン授業でしたが、きちんと作品分析の方法を身に付けてもらえるように、設問と「まとめ」では対面授業で伝えていることを文章にしておきました。教科書の解説と合わせて、よく復習しておいてください。卒業論文を書く時にも、この授業で学んだことを役立てていただけると、嬉しく思います。
中世文学史 b	大橋 直義	国文学科3年生として、中世文学研究を行うための基本的な知識や論文執筆のための基礎的調査方法を学ぶ授業であった。教員の体調不良・不手際によって、授業動画のアップロード時期に大幅な狂いが生じ、そのため受講生に負担が生じさせてしまった点、反省するほかないものの、その実、受講生の期末レポート及びそこにいたるまでの課題提出の充実ぶりを見る限りにおいては、充実したものが多数を占めていた。
特殊演習 2	大橋 直義	卒業論文を執筆するために必要な基礎的技能を養うための授業であったが、その結果、無事に素晴らしい卒業論文を執筆するに至った。
近現代文学演習 2	河野 龍也	オンラインの演習でしたが、他の学生の発表レジュメを参考にしながら、かなり意欲的に取り組んでくれました。発表に対するコメントも力の入ったものが多く、毎回楽しみにしているとの声も聞かれました。コメント紹介の公開にばらつきがあった点を改善したいと思います。授業を通じて、調査や考察の基礎的な力は身に付けていただくことができたと思っています。
特殊演習 2	佐藤 悟	回答が一名なので特にありません。
国語学概論 b	三好 伸芳	学生からは、内容理解に関して好意的な回答があり、「これまで関心を持っていなかった、当たり前だと思っていたことを改めて見つめ直し分析する力がついたように思う」などのコメントが見られた。本科目の目標は概ね達成できたと思うが、専門的な内容に対してより学びを深めたいと思えるような工夫を続けていく必要がある。
特殊演習 2	福嶋 健伸	17名の卒論指導は、かなり大変であったが、「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値は、4.92（全体平均4.34）であり、頑張ったかいがあったと思う。

[2021（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
近現代文学研究 b	ブルナ, ルカーシュ	この一年、お疲れ様です。4月からはこの授業を含めて今まで学んできたことを生かしながら卒業論文の執筆も頑張ってください。
伝統芸能 b	小倉 伸二郎	補助者なので特にありません。
国語学概論 b	福嶋 健伸	学生からのコメントは、「言葉の意味に関して考えたこともなかったことについて考えられたため、母国としている日本語についての理解がよく深まったと思う。」のように、肯定的なものであったが、対面とオンライン授業、二つの形式で授業をせねばならず、「グループワークをやったのが、良かったのですが、やはりmanaba上だとラグがあり、話がかみ合わなくなってしまうことがありました。」というコメントもあった。ただ、manabaではこのような問題の回避は難しいように思う。
中古文学研究 b	舟見 一哉	音声ファイルとPDFを送信する形式のオンデマンド講義であった。内容は難しいはずであるが、よく理解し、興味をもった学生が多いたことに安心した。
日本語教育学演習 2	山内 博之	70名近い受講者数がいたため、全員の宿題に目を通すのが大変でした。また、最終レポートにコメントを返すのも大変遅くなってしまい、申し訳ありませんでした。受講者が多いことが武器になるよう、受講者が作成した例文すべてに目を通し、それを使用して翌週の教材を作成したのですが、どれほどの効果があったのかはよくわかりません…。
近代文学基礎講読 b	ブルナ, ルカーシュ	一年の授業、お疲れ様です。対面とZOOMが入れ替わる授業となり、大変だったと思いますが、みなさん、よく頑張りました。来年も頑張ってください。
有職 b	高倉 永佳	前期に引き続き、後期もコロナウイルス感染に振り回された一年でしたが、臨機応変に対応する力が養われたのではないのでしょうか。順調な時は問題ないのですが、人は危機に面し、問題が発生したとき、どのように解決するかが試されます。問題を解決するためには、情報収集能力・判断力・決断力など、さまざまな能力が必要になるでしょう。その中で歴史学が一つのヒントになるのでは。古来、人間が生きてきた営みの中に未来のヒントが隠されていると思います。  コロナ禍が収束することを願い、皆さんの明るい将来が開かれることを祈念しています。一年間お疲れさまでした。
特殊演習 2	山内 博之	対面での授業を行えない時が多く、manabaでの卒論指導が中心となってしまいました。ゼミが始まってから卒論の提出までの間に約800回のコメントを書き、私としてはベストを尽くしたつもりだったのですが、やはり対面の方が指導しやすい内容もあると思いました。また、対面だと、就職や進路の話など、卒論以外の話もできるのですが、manabaだと本当に卒論の指導のみになってしまい、その点が申し訳なかったです。
近現代文学史 b	棚田 輝嘉	評価ありがとうございます。オンデマンドと言うことで、説明が分かりにくくなった所が多々あるな、と反省しています。文章という形でも分かりやすく、面白い内容を、今後も目指して行こうと思います。
国文学概論 b	舟見 一哉	対面が中心となる講義であったため、資料の現物をみせることができた。この点は学生にも大変好評であったことがわかったので、今後も続けることにする。
近現代文学演習 2	棚田 輝嘉	評価ありがとうございます。「成長を感じられた」100%を目指している私としては、まだまだ頑張りが足りないなと反省しています。今年度の教材を見直して、来年度はさらに面白く力がつく授業内容にして行きます。
中世文学基礎演習 2	大橋 直義	この授業では、国文学科2年生として、中世文学を研究するために必須の技能である釈文分析の力を獲得することが目的であった。受講生はいずれも、オンライン授業という困難な状況にありながら、最大限の努力を以て、当面必要な技能を身に付けることができるにいったと判断する。
特殊演習 2	湯浅 茂雄	皆さん、授業評価をありがとうございました。さらに授業を振り返って今後役に立てて参ります。
特殊演習 2	舟見 一哉	アンケート回答数が少ないという課題は今年も残った。スケジュールをもう少しねり、はやめに提示できるように工夫しなければならないという反省点もみえた。
近世文学演習 2	佐藤 悟	回答が一名なので特にありません。

[2021（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中国文学演習 2	田中 靖彦	授業に対して、非常に高い評価をいただきましたこと、誠にありがたく思います。引き続き、皆様にご満足いただける授業を実施できるよう努めてまいりますので、何卒宜しくお願い致します。
中古文学演習 2	舟見 一哉	非常に高いハードルを設けすぎた演習であったが、学生がよくついてきたうえに、満足度も高かったことがわかり安心した。もちろん年度にもよるが、やや高いハードルを設けて問題解決を促す手法もよいかもしれない。
特殊演習 2	河野 龍也	卒業論文お疲れ様でした。対面とZOOMを併用したのでお話すの機会は例年より多かったように思います。就職活動が大変で、卒論との両立にどなたも苦労されていましたが、無事全員が提出できたことに安堵しています。これだけの大仕事を終えて自分に自信がもてたに違いありません。この充実感を忘れずに、それぞれの場所で生きがいを感じて働けるように、いつまでも祈っています。
中国文学研究 b	秋谷 幸治	今年度も昨年度と同様にmanabaを用いてメディア授業（オンデマンド型）を進めていきました。今年度は、課題における受講生の解答をそれぞれ紹介しながら、授業内容を深めていくことを心がけました。多くの学生が、様々な意見に触れることで、新たな発見をしてくれたようでした。授業アンケートの結果を見ると、「オンデマンド型でも丁寧な解説をしてくれたので、中国文学について理解が深まった」といった肯定的なコメントを複数もらいました。来年度は対面授業が再開される予定ですが、メディア授業において効果的であった取り組みも活かしながら、学生が主体的に学べる授業を進めていきたいと思っています。
仮名書法 2	伊藤 文生	オンライン授業と対面授業との混合形式となり、なかなか本来の十分な取り組みができなかった。にもかかわらず、受講生は各自それぞれに工夫努力してくださったことにまず感謝したい。要望として、「出席を資料確認のみで済ませないで欲しい」という意見があった。授業が対面であるため、授業の出席や授業課題の提出で出席をつけて欲しい」という意見があった。これは少々誤解のようだ。出席を資料確認のみで済ませてはいない。最終的には納得していただいたものと確信する。 受講生の自己評価および感想を見ると、およそ以下のとおりで、一応の学修成果は得られたものと判断する。 ・変体仮名を読めるようになった。 ・少しずつかな文字が読めるようになりました。 ・かなり学びを深められたと思う。 ・かな文字の表現の仕方、作品によってそれぞれに表れる字の特徴について学ぶことができた。また、かな文字の代表的な書家やその書について見て勉強することができた。 ・今まで他の授業で異体仮名を読む際になかなか読めず辞書を引く必要がありました。が、異体仮名に慣れずらすら読むことが出来るようになりました。また、字をよく見ながら書くことで、集中力が高まりました。 ・筆を使って仮名をしっかりと練習することが出来た。 ・字を丁寧に書く余裕がうまれました。 ・欠席などに対しても柔軟に対応してくださり感謝しています。また、後期の小テストをまとめて公開してくださったことで、自分の好きなタイミングで取り組むことが出来たのでよかったです。
中国文学史 b	秋谷 幸治	今年度も昨年度と同様にmanabaを用いてメディア授業（オンデマンド型）を進めていきました。今年度は、課題における受講生の解答をそれぞれ紹介しながら、授業内容を深めていくことを心がけました。多くの学生が、様々な意見に触れることで、新たな発見をしてくれたようでした。授業アンケートの結果を見ると、「工夫して授業を進めてくれたので内容もよく理解できた」といった肯定的なコメントを複数もらいました。来年度は対面授業が再開される予定ですが、メディア授業において効果的であった取り組みも活かしながら、学生が主体的に学べる授業を進めていきたいと思っています。
特殊演習 2	田中 靖彦	授業に対して、非常に高い評価をいただきましたこと、誠にありがたく思います。多くの方に真摯に演習に取り組んでいただきまして、衷心より感謝申し上げます。
漢文学基礎講読 b	田中 靖彦	授業に対して高評価をいただきましたこと、誠にありがたく思います。授業の進め方などについても褒めの言葉をいただきました。また、出席の取り方などについてのご希望・ご意見もいただきましたので、今後の授業で取り入れさせていただきたいと思っています。引き続き、皆様にご満足いただける授業を実施できるよう努めてまいりますので、何卒宜しくお願い致します。